

増便による「羽田新ルート」 危険な都心低空飛行は止めるべき

元日本航空機長 山口宏弥

川崎コンビナート上空も飛行

政府は3月29日から、羽田離発着機の都心上空と川崎コンビナート上空の飛行を認めることにしました。今回の決定は、従来の政策を180度転換するもので、周辺住民にとってもパイロットにとっても大きな問題です。

航空界には、「魔の11分間（危険な11分間）」という言葉があります。これは世界の航空機事故を分析した結果、離陸後3分間と着陸前の8分間に事故が集中していることから生まれた言葉です。

これまでは、この11分間は都心や川崎コンビナート上空の飛行を禁止していました。それを今回、増便を理由に、都心も川崎コンビナート上空の飛行も認めるという無謀な判断をしたのです。

騒音と落下物リスク増大

政府は1990年の日米構造協議を受けて、米国に空港建設を約束し、地方の活性化と国土の均衡ある発展を謳い、新空港を次々と開港させて国際線の参入も推進してきました。

しかし、今回は真逆です。羽田空港をハブ化して、国際線を羽田に集中化させ、羽田から地方路線に乗り継ぐ政策に転換したわけで

す。また1978年に羽田から成田に移した機能をも逆戻りさせるものです。

羽田の新ルートで、都民や川崎市民は日常的に騒音や落下物の不安に悩まされることとなります。騒音問題では、測定局を16から32局に増設しますが、パイロットの操作は常に安全を最優先しますので、測定器の増設は何の騒音対策にもなりません。

羽田空港の離発着機は、これまで東京湾上を経由していたので、落下物は発見されませんでした。氷塊については、雪氷滑走路から離陸した場合、車輪周りへの氷の付着は避けられません。そのため成田空港では、太平洋から直進進入する場合には、九十九里浜を通過前の太平洋上で車輪を下ろす手順になっているのです。

政府は都心上空の飛行は、午後3時から7時までの4時間としていますが、使用滑走路の変更は30分間を要するので、実質は3時間の運用になると説明しています。

しかし、この使用滑走路の変更は、混雑時間帯だけに管制官には負担となります。使用滑走路の変更で、着陸の順序に変更が生じたり、遠回りや待機をさせられるケースが発生しますから、想定通りの離着陸数が確保できるのか疑問です。

安全上の問題放置か

羽田新ルートは、パイロットにとっては安全上の問題がありません。一つは、滑走路端から3000以上の着陸接地点を、480以内側へ移動させた問題です。これは滑走路を短く使用することになり、着陸時の安全上の余裕が少なくなります。

もう一つは、進入角度が3.5度という問題です。国土省は高い角度から進入することによって、騒音が軽減されるとしています。しかし、民間空港の進入角は国際的に3度が標準で、ほとんどの空港は3度です。

民間旅客機のパイロットは3度の進入角度(5%・勾配1対20)

パイロットは知っている

羽田増便・
都心低空飛行が
危険なこれだけの理由



杉江弘・山口宏弥 著 / 1000円 + 税
合同出版 ☎ 03-3294-3506

元日本航空機長の2人が暴く危険の数々に愕然とさせられる。本来、飛行機は着陸に近づいたら1分間に1000フィート(300m)以下の降下率で、3度の角度で下りていく。あの御巣鷹山の事故を経て日航が定め、日本の航空各社が憲法のように守ってきた安全のためのルールだ。しかし羽田新ルートの3.5度では、無風状態でも毎分1000フィートを超えることがあり、尻もち事故を誘発。尻もち事故は機体を傷め、その後の墜落事故にもつながる。

「今後、外国のパイロットの中には不安定な状況でも進入を続け、最後に『エイヤー』と一か八かで突っ込む飛行機が出てくるのではないかと心配している」という記述には、背筋が凍った。

本書には風向きごとの新飛行ルートが示されているので、ぜひ自分の目で見て確認してほしい。

(光)

で常に訓練されています。わずかに0.5度の違いですが、パイロットの目からは、滑走路に「つんのめる」感じさえあります。

着陸操作は難しくなり、ハードランディングを誘発するだけでなく、機体尾部の接地やゴアアラウンド(着陸より直し)が多くなり、管制を乱す結果にもなるでしょう。

米軍の横田空域を優先

実はこの3.5度の進入角ですが、横田空域との関係で設定されたことが、パイロットの訓練資料で明らかとなりました。

羽田新ルートは、横田空域の一部を通過するため、米軍との調整の結果、横田空域の一部の管制を東京進入管制に移管しましたが、空域の制限をそのまま残したので、政府はこれを隠して、「騒音対策のために進入角を3.5度に設定した」と住民を欺く説明をしてきました。

羽田新ルート問題は、空の安全や住民の生活と権利だけでなく、「国の主権」に大きく関わる問題でもあるのです。